

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【公開番号】特開2018-94385(P2018-94385A)

【公開日】平成30年6月21日(2018.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2018-023

【出願番号】特願2017-188686(P2017-188686)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 4 G

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月29日(2020.7.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のリールと、

複数のストップスイッチと、

所定の表示手段と、

特定の報知手段と、

遊技の進行を制御する主制御手段と、

演出を制御する副制御手段と

を備え、

前記主制御手段は、

抽選を行う抽選手段と、

演出グループ情報を導出するための演出グループ情報生成テーブルを記憶した記憶手段と

を備え、

前記抽選手段により決定され得る抽選結果として、第1抽選結果と第2抽選結果とを有し、

第1抽選結果が決定された遊技では、ストップスイッチが第1の操作態様で操作された場合に遊技価値として「X」を付与可能な図柄組合せを停止表示可能であり、

第2抽選結果が決定された遊技では、ストップスイッチが第2の操作態様で操作された場合に遊技価値として「X」を付与可能な図柄組合せを停止表示可能であり、

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

通常区間において第1抽選結果が決定された遊技では、前記演出グループ情報生成テーブルから演出グループ情報を導出可能とし、導出した演出グループ情報を前記副制御手段へ送信可能に構成されており、

通常区間において第2抽選結果が決定された遊技では、前記演出グループ情報生成テーブルから演出グループ情報を導出可能とし、導出した演出グループ情報を前記副制御手段へ送信可能に構成されており、

第1抽選結果が決定された遊技で導出される演出グループ情報と第2抽選結果が決定さ

れた遊技で導出される演出グループ情報は、同一の情報であり、

通常区間において第1抽選結果が決定された遊技では、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知せず、

有利区間において第1抽選結果が決定された遊技では、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知する場合を有し、

第1抽選結果が決定された遊技であって、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知した遊技において、遊技価値として「X」を付与可能な図柄組合せが停止表示した場合には、前記特定の報知手段によって特定演出を実行可能とし、

第1抽選結果が決定された遊技であって、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知した遊技において、遊技価値として「Y(Y < X)」を付与可能な図柄組合せが停止表示した場合には、前記特定の報知手段によって前記特定演出を実行せず、

特別遊技状態の開始条件を満たした場合は、特別遊技状態を開始するように構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が実行されると、有利区間が終了するように構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が特別遊技状態で実行され、その遊技で特別遊技状態の終了条件を満たさなかった場合は、次の遊技は、通常区間であり、特別遊技状態であるように構成される

ことを特徴とする回胴式遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本態様に係る回胴式遊技機は、

複数のリールと、

複数のストップスイッチと、

所定の表示手段と、

特定の報知手段と、

遊技の進行を制御する主制御手段と、

演出を制御する副制御手段と

を備え、

前記主制御手段は、

抽選を行う抽選手段と、

演出グループ情報を導出するための演出グループ情報生成テーブルを記憶した記憶手段と

を備え、

前記抽選手段により決定され得る抽選結果として、第1抽選結果と第2抽選結果とを有し、

第1抽選結果が決定された遊技では、ストップスイッチが第1の操作態様で操作された場合に遊技価値として「X」を付与可能な図柄組合せを停止表示可能であり、

第2抽選結果が決定された遊技では、ストップスイッチが第2の操作態様で操作された場合に遊技価値として「X」を付与可能な図柄組合せを停止表示可能であり、

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

通常区間において第1抽選結果が決定された遊技では、前記演出グループ情報生成テーブルから演出グループ情報を導出可能とし、導出した演出グループ情報を前記副制御手段へ送信可能に構成されており、

通常区間において第2抽選結果が決定された遊技では、前記演出グループ情報生成テーブルから演出グループ情報を導出可能とし、導出した演出グループ情報を前記副制御手段

へ送信可能に構成されており、

第1抽選結果が決定された遊技で導出される演出グループ情報と第2抽選結果が決定された遊技で導出される演出グループ情報は、同一の情報であり、

通常区間において第1抽選結果が決定された遊技では、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知せず、

有利区間において第1抽選結果が決定された遊技では、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知する場合を有し、

第1抽選結果が決定された遊技であって、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知した遊技において、遊技価値として「X」を付与可能な図柄組合せが停止表示した場合には、前記特定の報知手段によって特定演出を実行可能とし、

第1抽選結果が決定された遊技であって、前記所定の表示手段によってストップスイッチの有利な操作態様を報知した遊技において、遊技価値として「Y(Y < X)」を付与可能な図柄組合せが停止表示した場合には、前記特定の報知手段によって前記特定演出を実行せず、

特別遊技状態の開始条件を満たした場合は、特別遊技状態を開始するように構成され、有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が実行されると、有利区間が終了するように構成され、

有利区間における遊技の実行回数が所定回数となる遊技が特別遊技状態で実行され、その遊技で特別遊技状態の終了条件を満たさなかった場合は、次の遊技は、通常区間であり、特別遊技状態であるように構成されることを特徴とする回胴式遊技機である。

<付記>

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る回胴式遊技機は、

複数のリール（例えば、リールM50）と、
複数のストップスイッチ（例えば、停止ボタンD40）と、
遊技の進行を制御する主制御手段（例えば、主制御基板M）と、
演出を制御する副制御手段（例えば、副制御基板S）と、
情報を出力可能な副情報報知部（例えば、演出表示装置S40）とを備え、

前記主制御手段（例えば、主制御基板M）は、
役抽選を行う役抽選手段と、
当選情報を導出可能な特定テーブルとを備え、

前記主制御手段（例えば、主制御基板M）は、
前記役抽選手段により「N（Nは、数値。）」以上の当選番号である第1当選番号を決定した場合には、前記特定テーブルを用いて小役に対応する当選情報と特別役に対応する当選情報とを導出可能とし、

前記役抽選手段により「N」未満の当選番号である第2当選番号を決定した場合には、前記特定テーブルを用いないように構成されており、

前記第2当選番号を決定した遊技において、第1の操作態様にてストップスイッチ（例えば、停止ボタンD40）の操作が行われたときには、第1の利益が付与される図柄組合せが表示可能であり、

前記第2当選番号を決定した遊技において、第2の操作態様にてストップスイッチ（例えば、停止ボタンD40）の操作が行われたときには、第2の利益が付与される図柄組合せが表示可能であり、

前記第2当選番号が決定され、前記第1の操作態様が特定可能な情報を報知した遊技において、前記第1の利益が付与される図柄組合せが表示された場合には、前記副情報報知部（例えば、演出表示装置S40）にて所定の報知情報を出力可能であり、

前記第2当選番号が決定され、前記第1の操作態様が特定可能な情報を報知した遊技において、前記第2の利益が付与される図柄組合せが表示されても、前記副情報報知部（例えば、演出表示装置S40）にて前記所定の報知情報を出力しないよう構成されていることを特徴とする回胴式遊技機である。